

栃木県日光市

「製品は企業の心」を具現化し、 大手メーカーとの差別化と地域ブランドに貢献

企業理念である「製品は企業の心」のもと、100%国内産米を使用し、原材料にできるだけよいものを使い高品質な商品を目指す米菓メーカーである。さらに、安全安心の商品づくりを目指し、2017年11月FSSC2200・ISO22000の認証を取得し、海外への拡販にも挑戦している。北関東売上高No.1企業としてCSR活動にも積極的に取り組んでいる。

●所在地	栃木県日光市芹沼1989-1	●設立	1927年
●電話/FAX	0288-31-1600/0288-31-1611	●資本金	3,900万円
●URL	http://www.maruhikoseika.co.jp/	●従業員数	353人
●代表者	代表取締役社長 山田 邦彦		



「匠の心」をブランドに国産米100%に拘った商品づくり

主な取引先は大手食品スーパー、大型百貨店、コンビニや地方スーパーなど幅広く、商社を通して海外へも輸出され、その人気度も高い。また、大手取引先や大手問屋から高品質の評価を受けている。原材料は100%国内産を使用、生産はロボット化を図っている一方、あえて手間隙を掛け手作り感を大切にしている商品も多数生産している。製造の最終工程では、リニアモーターで駆動するステンレス製コンベアを使用し、商品の破損を防いでいる。



国産米100%に拘る「匠の心」

年間50万人の集客を誇る「日光おかき工房」を工場に併設

自然遺産日光の表玄関に位置する工場は観光工場としての設備を配し、地域密着はもちろんのこと、多くのお客様にお越しいただくために休憩コーナーを設け、ソフトドリンク無料(飲み放題)とし、店舗に陳列された商品の殆どを「試食」できるようにしている。年間の来店客数は50万人を超える。敷地内は来店いただいたお客様にゆったりとくつろいでいただけるよう、多くの木々を積極的に配している。工場の屋根を利用した太陽光発電事業にも参画し、自然環境に優しい企業として工場敷地内には緑化にも力をいれている。



工場併設の「日光おかき工場」

地産地消最優先に日光・鬼怒川ブランドの価値向上に貢献

日光市や東武鉄道とのコラボレーションによる日光ブランド拡販に精進している(日光市には年間1,200万人の観光客が押し寄せた経緯もある)。東武鉄道のSL大樹車内で季節商品等をお配りし、拡販を図っている。道の駅「日光街道ニコニコ本陣」の商業施設にも出展している。さらに、鬼怒川エリアには和洋菓子販売の「鬼怒川お菓子の城」を子会社として持ち、日光・鬼怒川観光で米菓と和洋菓子のシナジー効果による拡販を進めている。



SL大樹がプリントされた「SL煎」